

2014年度特別会員・ 現役会員合同新年賀詞交換会 1月16日(木) 岡山国際ホテル

ご来賓の足羽副知事、大森市長、岡山商工会議所岡崎会頭そして各地青年会議所の皆様と特別会員の皆様をお迎えして新年の賀詞を交換させていただきました。終始にぎやかな雰囲気で行ったこの会で、参加者の皆様も賀詞・名刺・情報の交換を行っていただきました。友好関係にある広島青年会議所で2016年に開催される全国大会のPRも行われました。岡山青年会議所も精一杯支援させていただきます。

皆様の激励を受け、1年間活動をフルスロットルで頑張ります!ご来賓の皆様、関係青年会議所の皆様、特別会員の皆様、新年の多用の中ご出席をいただき誠にありがとうございました。



京都会議 1月24日(金)~26日(日) 京都国際会館

日本青年会議所へは698の地域で活躍する20歳から40歳までのリーダーを志す青年が37,000名程所属しています。

年始に開催される京都会議は日本青年会議所最初の主要事業です。「取り戻せ日本の矜持を!」のスローガンの下、約5,500名の全国のメンバーが京都に参集して盛大に行われました。

鈴木和也会頭は所信で「混沌とした現代社会を真に明るい豊かな社会へと導くのは、我々青年の責務である」と強調して、「たくましい国」日本を次世代に引き継ぐために力強く宣言し、集まったメンバーたちの本年度の活動に対する意欲を高めました。また、ファッション・医療・教育・物流・建築等のさまざまな業種別交流会等も数多く開催されました。

岡山青年会議所からも鈴木森理事長が各主要行事に出席されたのをはじめ、日本青年会議所へ出向しているメンバーも設営に活躍していました。



歴代理事長会議 2月6日(木) 荒手茶寮

岡山青年会議所の隆盛を支えられた中島博第20代理事長(ナカシマホールディングス株式会社代表取締役会長)をはじめとされ、黒瀬敦美第22代理事長(山陽ヤナセ株式会社代表取締役会長)・前坂匡紀第30代理事長(株式会社ビザビ代表取締役会長)といった現在も郷土おかやまをけん引される歴々たる皆様19名にお越しいただき、岡山青年会議所歴代理事長会議が荒手茶寮にて開催されました。

鈴木森理事長が挨拶を行い、会は進行して参りました。途中、現役メンバーから岡山青年会議所が取り組んでいる「学びを楽しむ」3事業や現状報告などをさせていただきました。

時が経つと皆様のお話も熱を帯びてきて、歴代理事長の皆様から岡山青年会議所の歴史・伝統・矜持・今後の方針等々のこの会でしか聞くことのできない価値あるご指導とご鞭撻をいただきました。



さくらカーニバル清掃 4月7日(月)午前7:00~ 後楽園東側河川敷

春とは思えない冷え込みの中、集まっていたボランティアの皆様とともに、蓬萊橋~相生橋(約1.3キロ)の区間を約60人が参加して、さくらカーニバル後の一斉清掃を行いました。午前7時からごみ袋と火ばさみを手に歩き、捨てられていた空き缶やたばこの吸い殻、パーベキューの炭の燃えかすなど約150kgを拾い集めました。

岡山の景観を守り、さくらカーニバルを開催し続けるためにも後片付けは欠かせません。

清掃中もジョギングをされている方がたくさん通られました。そういった方のためにも、いつも気持ちよく楽しめる場所としてみんなで維持していきましょう。

岡山の誇る観光地ですので、自信をもてるようにきれいにおきたいですね。

岡山さくらカーニバル実行委員会(岡山県、岡山市、岡山商工会議所、岡山青年会議所、山陽新聞社、山陽放送、テレビせとうち、岡山放送)



4月公開例会 市民公開ビジネスセミナー 4月10日(木) えきまえミヨシノ

株式会社サンラヴィアン代表取締役社長 占部守弘様(『NINIK INE』CEO、岡山青年会議所第56代理事長)を講師としてお迎えして4月例会 市民公開ビジネスセミナーを開催しました。郷土おかやまで将来を嘱望されている20代30代の若手が多数参加して、教えていただく経営術や処世術へ熱心に耳を傾けました。占部講師は若くして社長に就任して、幾多のご経験を積まれたお話を基軸に、時代を先取りしてモンドセレクション最高金賞受賞へ至るお話や、今後の経営に生かせるたくさんのお言葉もご教授いただき、一般参加者も現役メンバーも大満足させていただきました。

参加者からは次に聞きたい講師の意見などもいただき、次回の市民公開セミナーを計画中です。



行政からのお知らせ

今秋「ESDに関するユネスコ世界会議」 が岡山で開催されます。

いよいよ今秋、岡山でESD(持続可能な開発のための教育)に関するユネスコ世界会議が開催されます。世界150ヶ国以上から3,000人以上が集まる会議のために、教育機関・企業・市民団体・行政などが連携して準備を進めています。

本年度、岡山青年会議所が実施される『学びを楽しむ』3事業は、持続可能な社会づくりの担い手を育て学びあうというESDの主旨とも合致するものであり、今後引き続き連携・協力をいただきたいと思います。

また、岡山青年会議所へは岡山地域でESDを推進する「岡山ESDプロジェクト」の参加メンバーである「重点取組組織」へ参加要請させていただいています。

ESD(持続可能な開発のための教育)とは

ESD:Education for Sustainable Development
「一人ひとりが、世界の人々や将来世代、また環境との関係性の中で生きていることを認識し、行動を変革するための教育」といわれています。

1.ESDは単なる知識習得ではなく、学習者みずから価値観を見つめ直し、よりよい社会づくりに参画するための力を育むことを目指した教育です。

2.さまざまな持続可能な社会への課題と向き合い、問題解決型の「教育」や「地域の活動」から生まれる、参加体験型の「学び」を重視しています

3.学校、企業、行政、NPO、社会教育機関、農林漁業者など、さまざまな立場の人たち、大人も子供も、それぞれがESDの担い手であり、学び手です。

4.持続可能な社会への課題(環境・貧困・人権・平和・開発...)はとても複雑。だから、ESDは環境、社会、経済のことを総合的に扱うことが重要と考えます。



今年、日本が国連に提案をして2005年から始まった「国連ESDの10年」は10年目の節目の年を迎えます。岡山は最も早い段階から様々な国・地域と連携してESDに積極的に取り組んでおり、世界からも注目されています。これからも、市民、経済団体・企業、学校、行政が連携・協力して、持続可能な社会づくりに向けて主体的に取り組む人を育成していけたらと考えています。

岡山市役所ESD世界会議推進局長 浅井 孝司

